

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

学校名	小城市立晴田小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上等すべての取組について、共通して実践していく内容について全職員で共通理解し、組織力を生かして取り組むことができた。 ・働き方改革、業務改善を念頭に置き、学校行事や校時程等を見直し、職員個々の意識高揚を図りながら、引き続き超過勤務削減に努める。 ・青少年及び育友会等と連携をより一層深めながら、より具体的な社会に開かれた教育課程の実現に努める。
------------------	--

2 学校教育目標	「心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子」の育成 ～地域に根ざし、夢に向かおう、晴田っ子！～
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達の学力向上については、12月調査の分析を基に、今後取り組んでいくことを全職員で共通理解し、児童一人一人の実態に応じた取組みを進めていく。 ○働き方改革、業務改善を念頭に置き、学校行事や校時程等を見直し、職員個々の意識高揚を図りながら、引き続き超過勤務削減に努める。 ○青少年及び育友会等と連携を深めながら、より具体的な社会に開かれた教育課程の実現に努める。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と組織的な共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学校全体でマイプランを共有するとともに、日常の指導実践の中で、取組みを進めていく。
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●子ども一人一人に寄り添い、いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、学校のいじめ防止対策への保護者の満足度を90%以上とする。 ●「自らの夢や目標の実現に向けて、諦めず努力を続けることができる」と回答する児童を80%以上にする。	・「月のこころ」アンケート、年2回の教育相談週間で一人ひとりの子どもをしっかりと把握し、問題には即時対応する。 ・ケース会議を随時開催し、その内容を全職員で共有し、学校全体で共通した取組みを行う。 ・全教育活動にキャリア教育の視点を取り入れ、夢や目標について児童が主体的に考える時間を設定する。 ・キャリアパスポートの効果的な活用 ・心理学の知見(目標の種類、成長型マインドセット、グリット等)を生かした講話の実践
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「朝食を毎日食べている」児童について、市の数値目標(95%)を達成する。	・年2回の晴田っ子アンケートで把握した朝食喫食率をもとに、手立てをとりながら学級指導や家庭科等で食の大切さを考えさせる。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●さらなる業務改善及び教職員の働き方改革	●教育委員会方針に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(火・金曜日最大18時)の遵守 ・業務改善策(「晴田小 働き方の6ヶ条」)を全職員でブラッシュアップし実践する。 ・早期周知による業務の効率的な実施 ・前月の時間外在校時間の実績の省察・改善の実践

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○学習習慣づくり (学びづくり部)	○全職員による「学びの6か条」の共通理解と共通実践	○晴田っ子アンケートで「学びの6か条」に関わる項目(10)～(17)において、できていると回答した児童の割合を80%以上にする。	・学びの6か条を週末にふり返る時間を各学級で確保するとともに、委員会活動の中に、各学年の達成状況を紹介し合う場を設けることで、「学びの6か条」の周知徹底を図る。
○人権が尊重される集団作り (自分づくり部)	○人権が尊重される集団作りを図り、自己肯定感を高める取組み	○子ども一人一人に寄り添い、「学校は楽しい」と答える児童を85%以上にする。	・人権教室や人権学習において、深く考えさせたり多様な考えに気づかせたりする。 ・毎月の生活目標を掲げる会で振り返り、規範意識を高める。 ・児童支援会議やケース会を通し、配慮が必要な児童の理解を深めるとともに、インシデントプロセス法を用いたミニ研修会を行い支援の充実を図る。
○自主的・実践的な態度づくり (仲間づくり部)	○より豊かで安全な集団生活となるように、出番・役割・ふり返り・称賛を心がけ、積極的に実践しようとする態度を培う取組み	○学級活動や児童会活動で、肯定的な回答ができた児童を85%以上にする。 ○「徒歩登校」について、肯定的な回答をした児童90%以上にする。	・特別活動において出番・役割・承認(ふり返り・称賛)を保障する。 ・感想交流や振り返りカードで、自分や友達の良さを見つけさせ、活動意欲を高める。 ・毎月調査を行い、徒歩登校に努めている学年を称賛し、意識の高揚を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--